



道母連だより

新年を迎えて

北海道知事

鈴木直道

新年あけましておめでとうございます。

社会福祉法人北海道母子寡婦福祉連合会の皆様におかれましては、健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

また、日頃から、ひとり親家庭の福祉の向上や自立促進にご尽力いただきしておりますことに、深く感謝申し上げますとともに、この度、「道母連だより」が、記念すべき100号を迎えるましたことを、心からお祝い申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、3年を超える長期にわたり、私た

社会経済活動が活発化する一方、物価高騰が長期化するなど、道民の皆様の暮らしや事業者の方々の経営環境に大きな影響が及ぶ中、道では、価格高騰等経済対策を講じるなど、暮らしの安心の確保を最優先に取り組んでまいりました。

また、6月に「こどもまんなか

ちの生活に大きな影響を及ぼしてきた新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行という大きな節目を迎えました。これまでの感染症

対策などにご理解とご協力をいたしましたことに、改めて心から感謝申し上げます。

道といたしましては、今後とも、道民の皆様のご意見を丁寧にお聞きし、国や市町村との連携を強化しながら、子ども応援社会の実現に向けた取組を進めてまいりますので、引き続き、皆様のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

本年が、皆様にとりまして、希望に満ちた素晴らしい年となりますよう心からお祈り申し上げ、新

年のご挨拶いたします。

■第100号
発行／令和6(2024)年1月1日
〒060-0031
札幌市中央区北1条東8丁目
北海道母子福祉センター内
電話 (011) 261-0447
●題字は山高しげり先生 ●印刷 横アイワード

■第100号

理事 甲谷 由美子
(苦小牧風花の会 理事長)

この度、令和5年度北海道母子寡婦福祉連合会の役員改選にあたり理事の役をお引き受けいたしました。

私の中では、コロナ禍の現状で苦小牧風花の会の運営、人材確保と共に就労の場の確保等、地元に課題が山積したなかでの承諾は無理との結論でした。

断ることを前提に風花の会の顧問に報告をいたしました。顧問よろいろな研修に参加し各単位会の皆さんと交流し勉強をさせて頂いたことを、次の役員へ繋げる期間と思い引き受けるように説得をされました。

繋ぎの役目と思えば少し気持ちしました。

みなさまのご支援とご指導を頂き努力を惜しまず務めさせて頂きますので、よろしくお願ひいたします。